令和４年度

11月　園だより

文京区立根津幼稚園

日々の生活経験が遊びの素に

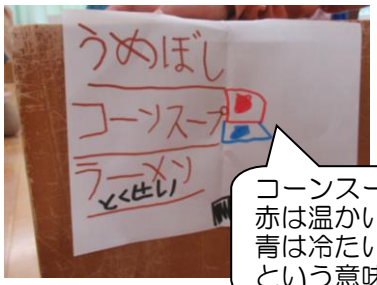
副園長　野本　和美

さわやかな風の下、運動会が楽しく行われました。保護者の皆様、ご理解とご協力をありがとうございました。アンケートには、子どもたちの頑張りや成長を喜ぶ声が多く寄せられ、読んでいて胸が熱くなりました。また、教職員への感謝や労いの言葉も多くあり、とてもありがたく読ませていただきました。

運動会を終え、子どもたちの遊びもさらに充実したものになってきています。遊ぶ姿を見ていると、日々の生活の中での経験が、遊びにたくさん生かされていることに気付きます。

＜５歳児のお店屋さんごっこの姿から＞

ある日、ほし組にラーメン屋とみたらし団子屋ができました。美味しい物がたくさんの根津地域だからでしょうか、再現の仕方が見事です。店の子どもたちは、品物を作り終わると、メニューや入れ物、お金を入れるレジや食べる場所など、必要な物を次々に作っていきます。お店が完成すると、さっそく隣のはな組に行き、食べに来てもらうよう売り込んでいました。「いらっしゃいませ、何がいいですか？」「こちらで食べてください」「温かいのと冷たいの、どちらにしますか？」などなど、お店の人としての言葉が自然と出てきて、次々来るお客に対応していました。この日は閉店まで大盛況、満足そうにお店を片付ける姿が印象的でした。



コーンスープ
赤は温かい
青は冷たい
という意味

蜜がたっぷり　みたらし団子

ちなみに、値段はラーメン１０００円、みたらし団子が２つで 200 円。経験から来たものでしょうか。この辺りも絶妙な価格です。

このように、幼稚園では、日々の生活で経験したことが遊びに生かされることがたくさんあります。子どもたちが、お家の人と買い物に行って物を買ったり、お店の人とやり取りしたり、値札や看板を見たり…など、生活する中で出会う全てが子どもたちの遊びの素になっています。遊びを楽しむ姿を見ていると、何か特別なことをするのではなく、日常の生活の中で、様々な経験を積み重ねていくことがとても大切なのだと感じます。これからも、何気ない日々の中で出会う一つ一つの経験を大事にしながら生活していきたいですね。